

／ 教えて! ／

JHF 質問箱

vol. 47

住宅金融支援機構の融資制度の疑問を
JHF職員がわかりやすくお答えします!

教えてくれた人



市場資金部
M 副調査役



市場資金部
R 副調査役

Q¹ グリーンボンドってなに?

A¹ 環境に配慮したプロジェクトの資金調達のために 発行する債券です!

グリーンボンドとは

- グリーンボンドとは、企業や地方公共団体等が、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー性の向上といった環境改善効果のある事業(グリーンプロジェクト)の資金を調達するために発行する債券のことです。
- グリーンボンドで調達された資金は、主に再生可能エネルギー、省エネルギー、クリーン交通、廃棄物管理など、環境改善や気候変動対策に役立つ事業に使われることが特徴です。

国内におけるグリーンボンドの発行累計額は10兆円を突破しており、環境意識の高まりを背景に、国内外の多くの機関がグリーンボンドを積極的に活用しています。

機構では、【フラット35】のうち「省エネルギー性に優れた住宅」を対象とした住宅ローン債権の買取代金を資金使途とするグリーンボンドを発行しており、省エネルギー性の高い住宅の普及促進に取り組んでいます。

機構グリーンボンドによる環境改善のイメージ



※機構のグリーンボンド発行の枠組みは、国際資本市場協会(ICMA)の「グリーンボンド原則2025」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン2024年版」に適合するものとして、評価機関である株式会社格付投資情報センターから第三者評価を得ています。

Q² 機構のグリーンボンドはどのくらい発行されているの?

A² 2025年度末時点で累計1兆4,400億円発行しました!

機構では、2019年1月に国内初となる住宅ローンを資金使途としたグリーンボンドの発行を開始し、2025年度末までに累計1兆4,400億円(一般担保債券(SB)4,250億円、政府保証債9,950億円、資産担保証券(グリーンMBS)200億円)を発行しています。

今後もグリーンボンドの発行を通じ、省エネルギー性の高い住宅の普及を後押しし、政府目標である2050年カーボンニュートラルの実現に貢献できるよう努めていきます。

機構のグリーンボンドの発行累計額

